

「消防団の力向上モデル事業」事業紹介

事業名 家屋倒壊現場等における対応能力向上事業

自治体名

愛媛県宇和島市

消防団名

宇和島市消防団

1 事業の目的・必要性

【目的】
平成30年7月豪雨災害の経験を踏まえて、激甚化、頻発化している豪雨災害や近い将来に発生が危惧されている南海トラフ地震の対応に加えて、令和6年能登半島地震で発生した、広範囲の液状化による家屋倒壊や土砂災害による孤立等が発生した。災害現場で「人命救助」を実施するためには重機を活用した迅速な「障害物の除去」や「道路啓開」が必須となる。災害現場を想定した、実践的な訓練を重ねて消防団員の操作技術の高度化を図り災害等の対応能力の向上を図る。また、結成済みの消防団ドローン航空隊との合同連携訓練を実施し、ドローンと重機の実践部隊としてハイパー消防団部隊（仮称）の結成を目指す。

【必要性】
大規模災害等が発生した際の「人命救助」のタイムリミット72時間以内に、いかに迅速に「障害物の除去」や「道路啓開」により「人命救助」に繋げる事が重要となっているため、消防団員の重機操作技術の高度化に取り組む必要がある。

2 事業内容

大規模な地震や土砂災害等が発生し家屋等の倒壊を伴った「人命救助」や救助・応急対応に必要な「道路啓開」等に対して災害用パワーショベルのつかみ機等を使用した迅速な「障害物の除去」能力の強化を目指して実践的な訓練を実施。

3 事業成果

改善された事項や具体的な数値等を記入してください。

大規模な地震や土砂災害等が発生し家屋等の倒壊を伴った「人命救助」や救助・応急対応に必要な「道路啓開」等に対して災害用パワーショベルのつかみ機等を使用した迅速な「障害物の除去」能力を強化することで、より実効性の高い人命の救助に繋げることが可能となった。

4 目標達成状況

事業提案書(様式1)アウトプット成果指標の結果を記入してください。

指標	単位	当初目標	実績値	備考
講習会	回数	6回	5回	
参加者	人数	41人	27人	
検討会・打合せ	回数	2回	3回	

5 その他参考情報

他自治体に参考となる情報を記入してください。

担当：愛媛県宇和島市危機管理課復興まちづくり推進係
TEL：0895-49-7006

